

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190600116		
法人名	社会福祉法人ナイスランド北方		
事業所名	グループホームきたがた湖山亭		
所在地	佐賀県武雄市北方町大字志久4531番地18		
自己評価作成日	令和5年2月13日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市鬼丸町7番18号		
訪問調査日	令和5年3月6日	外部評価確定日	令和5年5月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「自分らしく、ほがらかに」の理念の元、入居者様がいつまでものんびり穏やかに過ごしていただけるように日々努めています。外出支援がままならない昨今ですが、天気の良い日には敷地内にある「美彩の森」までおやつやお弁当を持って出かけたり、散歩に行ったりしています。共同空間から見える景色も自然豊かで四季折々の風景を楽しむことが出来ます。また、施設での生活にストレスを感じられないように毎月色々な行事を行い楽しんでいただいています。全体でのレクリエーションや個人の能力や興味に応じた脳トレや塗り絵、折り紙などを提供しています。認知症対応型という事でスタッフの知識や理解を深めるため様々な研修や勉強会にも積極的に参加しケアの向上に努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

理事長の「地域の方が安心して慣れた環境で生活をしてもらいたい」との思いでグループホームを開設された。地域住民の不安もあったようだが、説明会を開き徐々に理解を頂くことで運営が始まり、現在では地域住民と一緒に行事を楽しんだり地域に根差した運営基盤で、入居後も利用者が社会性を感じて頂くことが可能である。法人理念である「その人らしく、ほがらかに」をもとに、利用者の状況に即したケアプランを作成しモニタリングをすることで、どのような支援が必要かを施設全体で検討し日々の暮らしに反映させていることで利用者の生き生きとした表情や笑顔をみることができるようではないだろうか。互いに信頼関係が築け、安心して生活を送ることができる施設である。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「自分らしく、ほがらかに」の理念を毎日の朝礼で唱和し、職員全員で共有しケアを提供する際の道標と捉えている。入居者様の権利と尊厳が損なわれないよう理念を軸に実践を行っている。	「自分らしく、ほがらかに」の理念を毎日の朝礼で唱和し、職員全員で共有しケアを提供する際の道標と捉えている。入居者様の権利と尊厳が損なわれないよう理念を軸に実践を行っている。	法人の理念である「自分らしく、ほがらかに」を毎朝の朝礼で唱和している。日々のケアの中で振り返り、その方らしい生活ができるようにサービスを提供されている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ禍であるため入居者様の外出や苑外活動は基本的に行えていない。事業所としては地域の美化活動に毎年参加して交流をしている。コロナ禍でなければ地域行事への参加や施設でのお月見会や敬老会への招待などで交流の場があった。	コロナ禍であるため入居者様の外出や苑外活動は基本的に行えていない。事業所としては地域の美化活動に毎年参加して交流をしている。コロナ禍でなければ地域行事への参加や施設でのお月見会や敬老会への招待などで交流の場があった。	現在はコロナにより行動が制限されているが、以前は地域の方と一緒に月見会や納涼祭を開催されていた。職員は地域の清掃活動や子供のパトロールを行い、利用者は障害者スポーツを通し地域の方とふれあい社会性を保っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	ご近所との付き合いを大切に気軽に相談していただけるように間口を広げ、法人内で連携して対応できるように実践している。	ご近所との付き合いを大切に気軽に相談していただけるように間口を広げ、法人内で連携して対応できるように実践している。	/		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では入居者様の状況や行事関係、職員が参加した研修の報告、2カ月の全体的な動きなどの報告をし、それに対する意見や助言を受けサービス向上に活かしている。	運営推進会議では入居者様の状況や行事関係、職員が参加した研修の報告、2カ月の全体的な動きなどの報告をし、それに対する意見や助言を受けサービス向上に活かしている。	運営推進会議はコロナの影響により書面で開催しているが、事前に参加者より意見を求め運営に反映できるようにされている。家族にも参加をしていただいていたが、現在は会議の内容を郵送し周知されている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	公的制度を必要とする入居者様の状況は常に市担当者に連絡を行い、連携を行いながら生活に支障が出ないようにしている。分からないことや問題が生じた場合は市役所などへ相談している。	公的制度を必要とする入居者様の状況は常に市担当者に連絡を行い、連携を行いながら生活に支障が出ないようにしている。分からないことや問題が生じた場合は市役所などへ相談している。	管理者が行政の活動にも参加をすることで 関係性を構築され入居相談を受けることもある。事業所からは困難事例などが発生した場合には行政へ相談し解決に向け取り組まれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束をしないケアについては法人内で定期的に勉強会を実施し理解するように努めている。やむを得ずセンサーマットを使用する際はご家族に了承を得て使用し、月1回のカンファレンスを行い必要性を確認している。玄関施錠については現在不審者防止と職員が気づかない間に1人での外出を避けるため施錠しているが、開錠に向けての検討も常に行っている。	身体拘束をしないケアについては法人内で定期的に勉強会を実施し理解するように努めている。やむを得ずセンサーマットを使用する際はご家族に了承を得て使用し、月1回のカンファレンスを行い必要性を確認している。玄関施錠については現在不審者防止と職員が気づかない間に1人での外出を避けるため施錠しているが、開錠に向けての検討も常に行っている。	身体拘束の事例はなく、契約時より拘束をしない方針を家族へ伝えられている。法人、事業所、オンラインで研修に参加し知識を深められている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	定期的に法人内で勉強会を行い、外部研修(オンライン)への参加も積極的に出来ている。職員の意識を高め、虐待が見過ごされないよう努めている。	定期的に法人内で勉強会を行い、外部研修(オンライン)への参加も積極的に出来ている。職員の意識を高め、虐待が見過ごされないよう努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人内で勉強会を行い、機会を見つけて外部研修にも参加している。当ホームでも利用されている方がいらっしゃるので職員全体で理解を深める必要がある。	法人内で勉強会を行い、機会を見つけて外部研修にも参加している。当ホームでも利用されている方がいらっしゃるので職員全体で理解を深める必要がある。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に文書に沿って説明を行い、不安や疑問点に対して十分な説明に努め、理解と納得いただけるようにしている。契約内容に変更があればその都度文書で説明を行い承諾を得ている。	契約時に文書に沿って説明を行い、不安や疑問点に対して十分な説明に努め、理解と納得いただけるようにしている。契約内容に変更があればその都度文書で説明を行い承諾を得ている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様との日々の会話から意見、要望を聞き取るようにして可能な限り実現できるように努めている。ご家族とは面会時や必要な時は電話などで意見、要望を伺っている。毎年年度末に家族アンケートを実施し運営に反映させている。	入居者様との日々の会話から意見、要望を聞き取るようにして可能な限り実現できるように努めている。ご家族とは面会時や必要な時は電話などで意見、要望を伺っている。毎年年度末に家族アンケートを実施し運営に反映させている。	過去に意見箱への投函はなく、利用者には日々のケアの中で、ご家族には面会や電話連絡の際に意見を聴取されている。年度末には家族へアンケートを行い今後の運営に活かすように取り組まれている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のグループホーム会議や申し送りノート等を活用し、職員から意見や提案があった場合は代表者や管理者は内容を検討し可能な限り運営に反映させている。	毎月のグループホーム会議や申し送りノート等を活用し、職員から意見や提案があった場合は代表者や管理者は内容を検討し可能な限り運営に反映させている。	月に1回の会議では出来るだけ多くの職員が参加できるようにシフトを柔軟に調整されている。会議以外にも日々の業務の中で気づいたことはお互いに情報を共有し働きやすい環境を整備されている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	年2回自己評価と作文を全職員に提出してもらい必要な場合は面談を行っている。自己評価を行うことで、本人の実績、達成度、努力などを把握して賞与や定期昇給に反映させている。	年2回自己評価と作文を全職員に提出してもらい必要な場合は面談を行っている。自己評価を行うことで、本人の実績、達成度、努力などを把握して賞与や定期昇給に反映させている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人全体で研修の機会がある場合は積極的に参加できるように支援を行っている。	法人全体で研修の機会がある場合は積極的に参加できるように支援を行っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	認知症サポーターキャラバンメイトの情報交換会に参加してネットワーク作りに努めている。また、外部研修に参加した際、情報交換したことをサービス向上に繋げている。	認知症サポーターキャラバンメイトの情報交換会に参加してネットワーク作りに努めている。また、外部研修に参加した際、情報交換したことをサービス向上に繋げている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人やご家族と話し合いを持ち不安なことや要望を伺い、また生活歴などの情報収集を行い、職員全員で共有し少しでも安心して生活していただけるように環境づくりに努めている。	ご本人やご家族と話し合いを持ち不安なことや要望を伺い、また生活歴などの情報収集を行い、職員全員で共有し少しでも安心して生活していただけるように環境づくりに努めている。			
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ホーム見学の際や入居申し込みの際に不安や要望などを傾聴し、ご家族の抱えている想いを受け止め円滑なサービスの利用が出来るよう信頼関係の構築に努めている。	ホーム見学の際や入居申し込みの際に不安や要望などを傾聴し、ご家族の抱えている想いを受け止め円滑なサービスの利用が出来るよう信頼関係の構築に努めている。			
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	抱えておられる問題についてご本人やご家族に十分聞き取りを行い、必要に応じて在宅サービスや老人福祉施設などの利用情報を紹介している。	抱えておられる問題についてご本人やご家族に十分聞き取りを行い、必要に応じて在宅サービスや老人福祉施設などの利用情報を紹介している。			
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者様の出来ること、得意なこと、興味のあることなどを見出し助け合い、共に過ごす事で生きがいを持って生活出来るように配慮している。	入居者様の出来ること、得意なこと、興味のあることなどを見出し助け合い、共に過ごす事で生きがいを持って生活出来るように配慮している。			
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会が自由に出来なくなった現在は入居者様の精神的な寂しさに寄り添っていただけるよう電話での会話をお願いしている。ご家族が負担に感じられないように寄り添い、話し合いご本人を支援している。	面会が自由に出来なくなった現在は入居者様の精神的な寂しさに寄り添っていただけるよう電話での会話をお願いしている。ご家族が負担に感じられないように寄り添い、話し合いご本人を支援している。			

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で現在馴染みの人や場所の関係継続の支援はできていません。そんな中病院受診時に近所の方に会われたり馴染みの看護師さんや医師に会い笑顔で話されることがある。	コロナ禍で現在馴染みの人や場所の関係継続の支援はできていません。そんな中病院受診時に近所の方に会われたり馴染みの看護師さんや医師に会い笑顔で話されることがある。	面会時間は設けられているが、電話連絡をいただくことで状況に応じ面会が可能となる場合がある。感染状況次第で、LINEを使ったオンライン面会も実施しておりコロナ禍でも関係性の継続が維持できる取り組みが行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者様同士の会話では耳が遠かったり、輪に入るのが苦手な方もいらっしゃるので職員が間に入り、つなぎ役をすることで孤立されないように支援している。	入居者様同士の会話では耳が遠かったり、輪に入るのが苦手な方もいらっしゃるので職員が間に入り、つなぎ役をすることで孤立されないように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	利用が終了しても必要に応じ、ご本人やご家族の相談や支援は協力できるように努めている。	利用が終了しても必要に応じ、ご本人やご家族の相談や支援は協力できるように努めている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の関わりの中で訴えや要望に耳を傾け把握するようにしている。それをグループホーム会議の中で検討し出来るだけご本人の希望を尊重できるよう努めている。	日頃の関わりの中で訴えや要望に耳を傾け把握するようにしている。それをグループホーム会議の中で検討し出来るだけご本人の希望を尊重できるよう努めている。	日常の中で利用者より意向を聞き出し毎朝の朝礼や申し送りノートを活用し情報を共有されている。コミュニケーションがとりにくい方には家族より情報を頂き日々のケアに反映されている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用前にご本人やご家族からこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方などを尋ね、フェイスシートに記入後全職員が把握できるようにしている。	利用前にご本人やご家族からこれまでの生活歴や馴染みの暮らし方などを尋ね、フェイスシートに記入後全職員が把握できるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個別ケース記録に1日の過ごし方、心身の状態、有する能力など記録し現状把握に努めている。状態変化があった時は申し送りノートや口頭で報告し情報の共有や迅速な対応が出来るようにしている。	個別ケース記録に1日の過ごし方、心身の状態、有する能力など記録し現状把握に努めている。状態変化があった時は申し送りノートや口頭で報告し情報の共有や迅速な対応が出来るようにしている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	コロナ禍でご家族と直接の担当者会議は行えていないが、介護職や主治医意見書の内容を踏まえ、ご本人の要望を大切に介護計画を作成している。状態変化時は個別カンファレンスを行い、ケアの統一を図るようにしている。	コロナ禍でご家族と直接の担当者会議は行えていないが、介護職や主治医意見書の内容を踏まえ、ご本人の要望を大切に介護計画を作成している。状態変化時は個別カンファレンスを行い、ケアの統一を図るようにしている。	担当の介護士がモニタリングを行い介護支援専門員がケアプランを作成されている。作成した内容に関しては郵送し電話にて報告される。モニタリングを毎月行う事で現状に即したケアを提供する事が可能となっている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケース記録や申し送りノートに日々の様子や変化、工夫した事またケアプランに沿って実践した結果、気づきを記入し職員間で情報の共有に努めている。また、意見や提案を出し合いケアプランの見直しに活かしている。	ケース記録や申し送りノートに日々の様子や変化、工夫した事またケアプランに沿って実践した結果、気づきを記入し職員間で情報の共有に努めている。また、意見や提案を出し合いケアプランの見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況に対応するため、他職種に相談しながら柔軟な支援サービスが出来るように取り組んでいる。	ご本人やご家族の状況に対応するため、他職種に相談しながら柔軟な支援サービスが出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍であるためボランティアの受け入れは出来ていない。状況が改善されたら地域の行事やまたボランティアの力を借りてご本人が生活を楽しむことが出来るように支援していきたい。	コロナ禍であるためボランティアの受け入れは出来ていない。状況が改善されたら地域の行事やまたボランティアの力を借りてご本人が生活を楽しむことが出来るように支援していきたい。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	ご本人やご家族の希望を大切に し、安心して医療が受けられるようか かりつけ医を継続してもらっている。基 本的に受診は家族様対応ですが、 受診が困難な場合は往診を依頼し たり、職員が受診同行を行っている。 内科や眼科の往診、歯科訪問 診療の利用も支援している。	ご本人やご家族の希望を大切に し、安心して医療が受けられるようか かりつけ医を継続してもらっている。基 本的に受診は家族様対応ですが、 受診が困難な場合は往診を依頼し たり、職員が受診同行を行っている。 内科や眼科の往診、歯科訪問 診療の利用も支援している。	病院を受診は基本的に家族対応と なるが職員が同行する場合がある。 職員のみで対応する事もあり、受診 後に家族へ結果を報告される。夜 間の急変時には協力医療機関と連 携を図り対応される。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	介護職員は入居者様の健康状態の 把握に努め、情報を施設看護師と 共有している。状態が変化した場合 は看護師に報告、相談し医師と連 携しながら適切な受診や看護が受 けられるように支援している。	介護職員は入居者様の健康状態の 把握に努め、情報を施設看護師と 共有している。状態が変化した場合 は看護師に報告、相談し医師と連 携しながら適切な受診や看護が受 けられるように支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行ってい る。	入居者様が入院された際は日頃の 生活状態等の情報提供を行っている。 また、早期退院に向けて病院関 係者との情報交換や相談に努め定 期的に容態確認を行っている。	入居者様が入院された際は日頃の 生活状態等の情報提供を行っている。 また、早期退院に向けて病院関 係者との情報交換や相談に努め定 期的に容態確認を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	契約時に重度化した場合における 対応の指針や看取りに関わる指針 を説明している。重度になられた場 合ご本人とご家族の希望を尊重し 当ホームで出来ることを説明しな がら医療との連携を図りチームで支 援に取り組んでいる。看取りになっ た場合は体制が整った併設施設に繋 ぐこともある。	契約時に重度化した場合における 対応の指針や看取りに関わる指針 を説明している。重度になられた場 合ご本人とご家族の希望を尊重し 当ホームで出来ることを説明しな がら医療との連携を図りチームで支 援に取り組んでいる。看取りになっ た場合は体制が整った併設施設に繋 ぐこともある。	終末期の意向を契約時より確認さ れ情報を共有されている。看取りの 対応も可能ではあるが、特別養護 老人ホームや病院で対応される ケースが多い。	

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	法人全体で消防署からの指導による救急蘇生法やAEDの使用方法的研修を実施し、急変時の対応について定期的に勉強会を行っている。	法人全体で消防署からの指導による救急蘇生法やAEDの使用方法的研修を実施し、急変時の対応について定期的に勉強会を行っている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回昼間と夜間の想定で避難訓練を行っている。コロナ以前は地域の方や消防団にも協力を仰ぎ地域一体となって避難訓練を行っていた。	年2回昼間と夜間の想定で避難訓練を行っている。コロナ以前は地域の方や消防団にも協力を仰ぎ地域一体となって避難訓練を行っていた。	年に2回の消防訓練を計画し夜間に実施することもある。地域住民や消防団の方にも参加していただくことで円滑な避難ができるように訓練をされている。常備食は事業所と法人で準備をされている。BCP(事業継続計画)に関しては法人が現在作成中である。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様に接する際は目上の方への敬意を持ち、入居者様と職員の距離感に気を付けながら誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応を心掛けている。	入居者様に接する際は目上の方への敬意を持ち、入居者様と職員の距離感に気を付けながら誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応を心掛けている。	入社時にオリエンテーションや接遇研修を行い 尊厳ある対応ができるよう取り組まれている。個人情報の保護についても契約時よりご家族に意向を確認し 写真等の取り扱いに十分注意し運営されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常生活の中でご本人の希望をお聞きするような場面を作り、自己決定できるように言葉かけや雰囲気づくりをしています。	日常生活の中でご本人の希望をお聞きするような場面を作り、自己決定できるように言葉かけや雰囲気づくりをしています。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活スタイル、ご本人のペースを大切に支援を心掛けている。	業務を優先するのではなく、一人ひとりの生活スタイル、ご本人のペースを大切に支援を心掛けている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご本人やが家族からの要望があった時訪問理容師にお願いし来てもらっている。身だしなみで出来ない所は介助し整えるように支援している。	ご本人やが家族からの要望があった時訪問理容師にお願いし来てもらっている。身だしなみで出来ない所は介助し整えるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	個々に合わせた食事形態を提供し、お盆拭きやテーブル拭き等の軽作業を手伝ってもらっている。行事などの時は特別メニューを考え、材料の下ごしらえを一緒に行いながら食事の楽しみに繋げている。	個々に合わせた食事形態を提供し、お盆拭きやテーブル拭き等の軽作業を手伝ってもらっている。行事などの時は特別メニューを考え、材料の下ごしらえを一緒に行いながら食事の楽しみに繋げている。	通常は食事の材料を外部に発注しているが、行事の際には利用者の好みも反映されるよう施設で準備して提供されている。料理は施設内で行い、常食・刻み食・ミキサー食の3形態で提供することが可能となっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事献立は外注で対応し、計算されたカロリー管理の下で提供している。食事量や水分量は毎日記録に残し、健康状態の目安になっている。	食事献立は外注で対応し、計算されたカロリー管理の下で提供している。食事量や水分量は毎日記録に残し、健康状態の目安になっている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、義歯や自歯のブラッシングを促し、介助が必要な方は付き添い言葉かけしながら行ってもらっている。必要な時は訪問歯科診療時に指導を受けている。	毎食後、義歯や自歯のブラッシングを促し、介助が必要な方は付き添い言葉かけしながら行ってもらっている。必要な時は訪問歯科診療時に指導を受けている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンの把握に努め、ご本人の能力に合わせた道具の選択をしています。また排泄動作に不安のあらわれる方には見守りや動作の手順をゆっくり説明し、一部介助を行うことで不安の軽減に努めている。	排泄パターンの把握に努め、ご本人の能力に合わせた道具の選択をしています。また排泄動作に不安のあらわれる方には見守りや動作の手順をゆっくり説明し、一部介助を行うことで不安の軽減に努めている。	排泄パターンを把握しトイレ誘導を基本としている。特に排便コントロールに関しては重点的に観察し、気になる事があれば主治医に相談され活動性が低下しないように配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分の摂取量を把握し、献立に食物繊維やヨーグルトやオリゴ糖を取り入れることで便秘解消に役立てたり、食事前に軽い運動を取り入れ腸の活動の手助けをしている。	水分の摂取量を把握し、献立に食物繊維やヨーグルトやオリゴ糖を取り入れることで便秘解消に役立てたり、食事前に軽い運動を取り入れ腸の活動の手助けをしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	基本的な入浴スケジュールはあるが、お断りされたり、体調がすぐれない場合は無理強いをせず時間をずらしたり、別日に変更するなど柔軟に対応している。	基本的な入浴スケジュールはあるが、お断りされたり、体調がすぐれない場合は無理強いをせず時間をずらしたり、別日に変更するなど柔軟に対応している。	入浴日は決まっているが体調や状況に応じて柔軟に変更し対応されている。介助が必要な方でも二人で介助するなど工夫を行い可能な限り入浴を楽しんでいただけるように実施されている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の体調や希望に応じて居室やソファ席などでくつろがれたり、午睡して過ごされている。室温や湿度調節も心掛け気持ちよく休んで頂けるように支援している。	個々の体調や希望に応じて居室やソファ席などでくつろがれたり、午睡して過ごされている。室温や湿度調節も心掛け気持ちよく休んで頂けるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方されている薬については薬剤師の内服薬説明書で確認を行い、職員間で情報の共有をし対応している。状態変化があった場合はかかりつけ医や施設看護師報告相談するようにしている。	処方されている薬については薬剤師の内服薬説明書で確認を行い、職員間で情報の共有をし対応している。状態変化があった場合はかかりつけ医や施設看護師に報告相談するようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	施設内で「出来ること」を見つけその方に合った役割をお願いしたり、興味のある脳トレや塗り絵をしたり、レクリエーションや散歩などをして気分転換の支援をしている。	施設内で「出来ること」を見つけその方に合った役割をお願いしたり、興味のある脳トレや塗り絵をしたり、レクリエーションや散歩などをして気分転換の支援をしている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	現在苑外活動、買い物支援は控えている。苑内周辺での散歩や気候の良い日に外での活動を行っている。	現在苑外活動、買い物支援は控えている。苑内周辺での散歩や気候の良い日に外での活動を行っている。	コロナ禍ではあるが、バスの中から桜を見ていただくなど季節に応じた外出を支援されている。敷地内にある遊歩道でも季節を楽しんで頂き、食事や休憩ができるようにテーブルセットを準備されている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的にはご家族で管理してもらっています。自己管理が出来る一部の方は少額を所持され、受診後にご自分で好きなものをご購入していただけるように支援しています。	基本的にはご家族で管理してもらっています。自己管理が出来る一部の方は少額を所持され、受診後にご自分で好きなものをご購入していただけるように支援しています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人の希望によりご家族に電話を掛けたり、掛けてもらったり出来るように支援している。最近では携帯電話を使ってのビデオ通話で顔を見ながらお話をされている。	ご本人の希望によりご家族に電話を掛けたり、掛けてもらったり出来るように支援している。最近では携帯電話を使ってのビデオ通話で顔を見ながらお話をされている。		

自己	外部	項目	自己評価／ユニットA(つばめ) (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB(かもめ) (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共同空間から見える山や湖の風景がとても良く、入居者様も気にいられています。室内外で植物を育てたり、飾ったりして季節感を感じられるように工夫している。温度や湿度調整もこまめに行い居心地よく過ごせるように工夫しています。	共同空間は居室の真ん中に位置し、入居者様も出て来やすく、採光も明るく過ごし易くなっています。温度や湿度調節もこまめに行い居心地よく過ごせるように工夫しています。	居室は広く、利用者の要望があった場合は職員手作りの表札が各部屋に飾られている。また、利用者の作品等も掲示されており、明るい雰囲気を感じることができる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ウッドデッキや玄関のベンチを利用したり、共同空間のテーブル席やソファ席で各々お好きな場所で過ごしていただいています。	共同空間に椅子やソファを置き、誰でもくつろぎやすい工夫をしています。また状況に応じて家具の配置などを変える対応を行っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族と相談して個室にはご自宅からテレビやソファ、棚など愛用の物を持ってきていただき少しでも落ち着いて過ごせるように工夫しています。	居室にはテレビや棚、タンスなどの愛用品を持ち込む事ができ、備え付けの洗面台が設置されています。馴染みの物を持ち込むことで入居者様が居心地よく過ごせるように工夫しています。	刃物などの危険物や火気以外は持ち込むことが可能となっている。居室は広く馴染みのタンスなどを持ち込んでも十分な広さが確保できるようになっている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	シルバーカーや杖での歩行が安全に出来るように全フラットなつくりになっています。また、居室やトイレを迷われる方のために表示を掲示し不安や混乱の軽減に努めています。	安全にシルバーカーや杖、車いす等を使用して移動が出来るように全フラットなつくりになっています。入居者様の身体能力や理解力に応じてベットやタンスを配置したり、転んでもケガをされないようにマットを敷く等工夫しています。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目)(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
↓ 該当するものに○印をつけてください				
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)	○	○	1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
				3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない